平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号)	提案機関名	横浜市漁業協同組合
125		

要望問題名 地産地消を通じた漁家経営向上のためのビジネスモデルの構築

要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】

横浜市漁協ではこれまで柴のシャコ・アナゴといったブランドが築地等の市場では認知さ れるべく努力してきた。地産地消が提唱されるなかで地域ブランドの確立が各地で推進されて いる。従来の既定流通の枠組みの中では鮮度等の品質を高めることが重要であったが、地域ブ ランドの確立には消費者のニーズを取り入れた漁業のイメージアップが重要である。漁協とし ては直売場や水産物加工販売所を通じて、水揚物全体のイメージアップを図る取り組みを展開 しているが、今後はその取り組みが直接、漁家経営の向上に繋げていくために何が必要か、新 たなビジネスモデルについて提言されたい。

解決希望年限	1年以内 2~3年以内	4 ~ 5 年以内	5 ~ 1 0 年以内		
対応を希望す	農業技術センター 畜産技術も	マンター 水産技術	特センター		
る研究機関名	自然環境保全センター				
借老					

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産	技術セング	ター		担当部所	企画資	資源部	
対応区分	実施	実施中	継続検討	実施	済調査指導	対応	現地対応	実施不可
試験研究課	題名 (の場合)普及活動					

対応の内容等

漁協運営の水産物加工販売所の取り組みについては水産業改良普及員の活動を通じてサポー トしてきたところですが、今後さらなる直売場との連携を強化することにより新たなビジネス モデルの構築が可能と考えています。利用者のニーズに対応した販売方法や商品開発、経営の 合理化等、その実践方法について情報提供やサポートを行って参りたいと思います。

また、漁家経営の向上や新たなビジネスモデルを検討するためには、現場情報が不可欠とな りますでご提供をお願いします。

解決予定年限	1年以内	2 ~ 3 年以内	4 ~ 5 年以内	5 ~ 1 0 年以内
備考				